

社会科シラバス 高校2年

1. 学習の到達目標と評価の観点

	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
(科目) 世界史特講	2 単位	第2 学年	『高校世界史探究』山川出版（教科書） 『プロムナード世界史』浜松書店（補助教材） 『世界史用語集』山川出版（補助教材）
学習の到達目標	・資料の読み取りを通して真理を追究していこうとする姿勢や、得られた知識・技能を実社会に役立てようとする意欲を養う。〔Science〕 ・世界全体を俯瞰するグローバルな視点と地域の問題を掘り下げて把握するローカルな視点を併せ持つ柔軟な思考力を養い、それに関する自分の考えや価値観を発信できるとともに、社会の中で自身に求められている役割を認識する。〔Global〕 ・探究心を持ち、物事を論理的にとらえ、現在世界各地で起きている問題を歴史的な視点から読み解き、よりよい解決策を導き出す。また、その解決策を実行するために、他者の意見を尊重しながら協働できる人間になる。〔Liberal Arts〕		
評価の観点	授業に前向きに取り組み、「なぜこのような出来事が起きたのか」といった疑問を持ち、知識を活用し、他者と協働しながら、その疑問を解決しようとする姿勢がある。＜主体性・多様性・協働性＞ 世界の歴史を学びながら、それぞれの出来事を比べたり、複数地域のつながりや影響を探究し、自分の考えを発信することができる。項目をただ暗記するのではなく、「原因→経過→結果」という因果関係をつかむことで、社会を動かす躍動感を体感する力をつける。＜思考力・判断力・表現力＞ 諸課題の形成過程について考察したり、資料を読みとるために必要な知識・技能を身につけられている。＜知識・技能＞		

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

- A：「十分満足できる」状況と判断されるもの
- B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
- C：「努力を要する」状況と判断されるもの
- D：未提出，未実施

2、学習内容及び評価方法

時期	単元	学習のねらい・到達目標
1 学期 中間 まで	先史時代 古代文明の社会的情勢と文化史 の関連について	・人類の誕生と進化の通史を理解する。 ・人類の進化を通して、人間らしさを考える ・メソポタミア文明、とくに最古のシュメール文明における文化の特質について、文明とは何かについて説明できる。
1 学期 期末 まで	地中海世界、およびヨーロッパの 古代～中世にかけての社会的情 勢と文化史の関連について	・地中海で栄えた文明と文化の特質について、当時のギリシア・ローマの政治史・外交史と絡めて説明できる。
2 学期 中間 まで	・内陸アジア世界・東アジア世界 の展開 - ヨーロッパの中世～近世にかけての 社会的情勢と文化史の関連につ いて	・中国史の通史の学習、五代十国～モンゴル帝国成立と発展までの通史を理解する。 ・内陸アジアで活動した遊牧諸民族の文化について、変容していく中国社会と絡めながら、その特色について説明できる。
2 学期 期末 まで	イスラーム世界の発展 ヨーロッパの中世～近世の社会的 情勢と文化史の関連について	・イスラーム文化について、宗派の特徴や、イスラーム諸王朝の変遷を踏まえながら説明できる。 ・ヨーロッパの中世社会について、農業だけでなく諸産業のや都市の発展、交通網の整備などから、説明できる。 ・近世ヨーロッパの文化について、市民革命への影響など政治史的な視点を踏まえながら、そのと特徴を説明することができる。
3 学期 期末 まで	大学入試問題の演習	・今までに獲得した知識を用いて、史料や図を読み取ることがより実践的な形式でできる。 ・自分の考えや意見を記述する形で表すことがより実践的な形式でできる。

評価の観点及び内容	評価方法（具体例）
教員の発問に対し、積極的に取り組んでいる。周りのクラスメイトと主体的に意見の交換をする様子がみられる。＜主体性・多様性・協働性＞	loilo 課題(提出)
設定された課題に対する自分の考えを、他者にも読み取れるように適切に説明することができる。＜思考力・判断力・表現力＞	loilo 課題(内容)
歴史的な知識を身につけられている＜知識・技能＞	授業内試験

